

STEVEN N. S. CHEUNG

Economist specialising in transaction costs and property rights

LONDON
SPEAKER
BUREAU



香港生まれのエコノミスト、スティーブン・ングシェン・チャンは、取引費用と財産権の分野を専門としています。彼は私有財産権と取引費用に関する研究で知られており、1980年代以降の中国の門戸開放政策に関する経済分析で名声を博しました。経済学の研究では、実世界の観察（観察優先アプローチ）に基づく経済説明に焦点を当てています。彼はまた、シカゴ学派の概念を中国に導入した最初の人物でもあります。

彼はUCLAで経済学の博士号を取得しました。UCLAでは、教師はアメリカの経済学者アルメンアルキアンでした。彼は1969年から1982年までワシントン大学の経済学部で教鞭をとり、1982年から2000年まで香港大学で教鞭を執った。この期間中、チャンは香港のAレベル経済学試験のシラバスを改革し、概念を追加した。制約された最大化、方法論、取引コスト、および財産権の仮定の、それらのほとんどはシカゴ大学の理論に由来します。

Topics

- Author
- China
- Economics
- Finance